



森ボラ 通信

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル 3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆ 新得町『屈足の森』訪問

9月3日に会員10名により一泊二日の日程で、当会会員の矢野さんが所有する『屈足の森』を訪問しました。目的は現地状況を確認して、来年以降の活動参加の可能性を探る、ことです。場所は上川郡新得町字屈足の岩松ダム付近に位置します。

この森は面積3.4ha、その内26, 27小班2.53haには1986年にアカエゾマツが植栽され、11小班0.8haはカラマツ植栽地に広葉樹が侵入した二次林となっています。その他トウモロコシ、枝豆、ズッキーニ、ソバ、トマトなどを栽培している畑と10人程が泊まれる山小屋がありました。



写真-1 山林の巡回



写真-2 山小屋前で夕食

訪問して昼食後に全員で森の全体を巡回して、どのような森なのかを私たちに感じ、何が出来るかを探りました。矢野さんの意向から、1班はアカエゾマツの下枝切り作業、もう一班は標準地の設定と樹木調査を実施しました。アカエゾマツ林は植栽後20年の2007年に徐間伐、下枝切りが行われ、背の高さまでの枝は既に切り取られていました。手を伸ばして頭上の枝を切るのは木くずが顔にかかり、次第に手がだるくなり大変な作業でした。1, 2人で実施するのは困難と思われました。標準地は26, 27小班にそれぞれ20m×20m=400㎡の区域を設定して、その範囲内の樹木のナンバリング、胸高周長、代表木の樹高を測定しました。標準地調査の結果を下記に示します。

表-1 標準地調査結果(20m×20m=400㎡)

小班	アカエゾマツ本数(本)	平均胸高直径(cm)	平均樹高(m)	平均単材積(㎡)	ha 当たり本数(本)	ha 当たり材積(㎡)	相対幹距比(Sr)
26	59	18.7	18.0	0.263	1,475	387.3	14.47
27	42	20.8	20.0	0.357	1,050	374.5	15.43

アカエゾマツ林は全体が暗く、周辺には笹が侵入していますが、中心部は下草・稚樹が少ないので、早期の間伐を行い日光が地面に届くようにする必要があると思いました。

今後は矢野さんの意向、森林組合の作業予定を考慮しながら我々にできる作業を見つけて協力していきたいと思えます。(文・樫棒、写真・三橋)

◆ 道民の森づくりネットワークの集い2017に参加して

9月10日野幌森林公園開拓の村で33の団体が集まり“……をスローガンに日頃の活動、研究成果を来場者に我が協会は親子連れにのこぎり体験をして貰いやすりで磨きHFVA (Hokkaido Forest Volunteer Association) と森の守り神のフクロウの焼き印を押してプレゼント。

また火起こし体験では多くの大人、子供がチャレンジしましたが、煙までで終わるケースが多く最後の点火まで行ったのは5人程でした。

クラフト作りでは持ち寄った材料で西野澄子さんが講師となって手ほどきをして時間を忘れて作品作りに没頭、大事そうに持ち帰ってくれました。協会からの参加は8名でした。

今回は来年度の第三回親子森林教室の案内を親子連れにチラシを持って説明しましたが、頭数が足りず説明なしでチラシのみを渡すだけに終わった事は残念でした。

この12月に第三回の森しり隊を募集しますが、開拓の村で聞いて応募しましたと云ってくれる家族が現れるかな・・・（文・事務局）



■ 活動報告

◆今年もサンサンキッズ澄川で植栽活動

江別第一小学校の学童保育（2年生から5年生）を受けている子ども達のグループの愛称がサンサンキッズです。8月1日にメンバー38名は指導員3名に引率され自分たちで育てたカミネッコン90鉢（アオダモ、イタヤカエデ、ミズナラ各30鉢）を持って環境林に来てくれました。



植栽した場所は昨年地拵えをしまB-7地区です。高学年の子がクワで穴を掘りそこに低学年の子がカミネッコン3鉢を置いてシャベルで土を掛け、30本の巣植えを終えました。普段からなんでしょうか・・・上が下の面倒を見ながらの光景は微笑ましくもあり協会のおじさん達の出る幕は少なかった様に思いました。恒例の酒井さんの葉っぱの話は手作りのボードを使ってクイズ形式で進められ森一杯に

元気な声が響いていました。（文・事務局）

◆こども園児植栽活動(活動報告)

8月16日 菊水いちい認定こども園児26名と保護者25名が澄川都市環境林のB7地区にてカミネッコン75個を植栽しました（エゾヤマザクラ37鉢、ヤチダモ38鉢）。

マーキングした竹支柱に土をならして3個ずつ置きました。樹種はヤチダモとエゾヤマザクラ半々でした。子供たちへの学習として根っこの役目の話をしました。

これに先立ち会員で苗木袋2袋のくず炭をさらに掛矢で細かく砕き、先に植栽したカミネッコンの周りに撒きました。炭は直接の肥料ではありませんが土壌菌を増やすと言われていました。（文・酒井）



◆桜台幼稚園のカミネッコン植栽

ぐずついた天候が続いた週末の8月26日、晴れた日になりました。桜台いちい幼稚園・保育園のカミネッコン植栽が行われました。園児とその兄弟・姉妹を含めて子供たち32名、保護者18名の参加でした。若いお母さん、お父さん。そしてお母さんの胸に抱かれた1歳にも満たない赤ちゃんが園児と一緒に参加していました。

園で育てたカミネッコンを持ってきての植栽です。エゾヤマザクラ 34 鉢、カツラ 32 鉢を密植しました。当日不参加の園児の分もお友達が植えていました。土の中から出てきたミミズ、トンボ、セミのヌケガラそして枯草の中から頭をだしているキノコなど子供たちの興味はつきません。

酒井さんから、ドングリの葉っぱを手渡され、葉っぱについてのお話がありました。植栽された木も、子供達もすくすくと大きくなるようお願いながら、園児たちを見送ったことでした。（文・本郷）



◆ 澄川南小3年生マイツリーを選定

9月5日3年生52名は今年2度目の澄川環境林訪問です。今回はこれから卒業までの4年間生長観察して行く自分たちの樹を選びました。12グループに分かれ相談しながらの選定作業では、あっちに行ったりこっちに来たりで森の中は活気そのものでした。

4名のボランティアのオジサン達は3グループを受け持ち、候補に挙げた樹の名前や特徴を教えるのにあっちやこっちに振り回され汗だくでした。30分程で選定木も決まり樹高周長を測定しました。選んだ樹の樹名板を作るために樹の名前や特徴を観察レポートに書き記し、樹皮の写真や葉っぱの付いた枝を持ち帰り今回の野外授業は終わりました。引率の先生からの提案でしょうか・・・子ども達ももっと森に楽しんで貰いたいと昆虫を見つけて観察をする時間を設けた事は森の実践学習を肌で感じ取って呉れたと思います。森を後にするチョットの時間に森の役目から見た根っこと葉っぱの話は次回の訪問を楽しんでくれると期待しています。ちなみに選んだマイツリーはミズナラ(2)、シラカンバ(2)シナノキ、ハリギリ、アウチワカエデ、キタコブシ、クリ、ホオノキ、アサダ、イタヤカエデの10種でした。（文・事務局）

◆ 北海道新聞社“ぶんぶんの森”下草刈り

7月20日、21日に会員17名が参加して7.05haの下草刈りを行って来ました。平成21年から24年の4年間で8回の植樹祭で植えた5,045本のトドマツ列に実生したカラマツが当たり一面に繁茂し、植栽したトドマツを凌駕している状況です。



繁茂したカラマツは植栽列の両端で大きく育っています。この原因は地寄せ時に剥いだ表土を両脇に寄せた事で、栄養価の高い腐葉土も押しつけた事が原因と考えられます。刈払機での下草刈りは密集したカラマツ(1m以上に生長したカラマツと現在も実生しているカラマツ)を残しながらの作業は神経を使いましたが、列の両サイドを中心に刈り終わりました。手刈り班はツボ刈り作業でしたが、繁茂したカラマツには手を焼いていた様です。

今回で下刈り等の育林管理は終わりますが、今後はこの繁茂したカラマツを残しながら植栽したトドマツとの共生にどの様に関わって行くか北海道新聞社ならびに胆振東部森林管理署とも協議して進めて行く必要性を感じました。今回、北海道新聞社企画室・中村氏が現地に来られ林内状況の視察と鎌で繁茂した下草刈りに汗を流しておられました。又この特異的な状況を理解して下さった事は今後の施業の在り方にご尽力して頂ける事を願っております。（文・事務局）

■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野・矢澤

1. 2017年10月、11月スケジュール・・・幹事会 10月3日(火)
2. 親子森林教室・・・第5回親子森林教室(10/15)のシミュレーション(9/12)実施予定
3. 2017年度森林・・・山林多面的發揮機能対策進行状況
有明環境林：ギャップ地の植栽広葉樹とアカエゾマツを予定
4. 澄川環境林で環境省モリタリングサイド1000里地調査の件
10月20日札幌市みどりの課現地視察
5. 道民森づくりネットワークの集い2017野幌森林公園開拓の村で9/10開催
出展内容：のこぎり体験、プレート作成、リース作り、火起こし
6. かんぼ生命保険会社社員澄川植樹祭・・・10/5かんぼ生命担当者現地視察
10月28日(土)広葉樹+アカエゾマツ100本植栽、ネームプレート作り他
7. 活動報告
9/7・8 コンサの森・・・下草刈り、除伐、
9/20・21 烏柵舞の森・・・刈り残した列の下草刈り、10/7育樹祭の準備
澄川南小3年生・・・9/5マイツリー選定(12本) 9/27 樹名板絵付け(工作室)
10/20 樹名板設置
8. 委員会報
業務委員会・・・11月HPのトップページに2018年度親子森林教室の募集案内掲載
研修旅行の概要説明と参加者の確認状況・・・参加者17名決定
9. その他
 - ・ホームマックから継続の依頼・・・澄川での要望事項を基に検討して行く
 - ・新得“屈足の森”調査・・・10名参加 標準値調査、アカエゾマツの枝払い作業
 - ・2017年8月会計報告

■活動履歴

月 日	行事・活動地	参加数	活動内容
8月09・10日	水明郷の森	13	植栽列・作業道の下草刈り
8月16日(水)	澄川	15	菊水いちい幼稚園児カミネッコン植栽、上流木道橋メンテ終了
8月18日(金)	有明	12	ササ刈り、傾斜木・枯損木の処理
8月21日(月)	澄川	17	E地区のニセアカ萌芽処理、林内観察会
8月23日(水)	有明	12	ギャップ地の下草刈り、蔓切り
8月26日(土)	澄川	14	桜台いちい幼稚園児カミネッコン植栽、ニセアカ萌芽処理終了
8月29・30日	烏柵舞の森	15	植栽列・作業道下草刈り、シラカンバ間引施業(マーキング)
9月01日(金)	ラルズビル	12	定例幹事会
9月02日(土)	澄川	12	E地区チッパーでボサ処理、薪材を管理地へ運搬
9月05日(火)	澄川	16	澄南小3年生マイツリー選定(12本)、かんぼ生命の訪問
9月07・8日	コンサの森	14	植栽列・作業道の下草刈り、除伐
9月10日(日)	野幌開拓の村	8	道民森づくりネットワークの集い2017